

ISO/TC 68 国内委員会総会 議事録¹

日 時：2022年6月7日（火）10：00～15：00
場 所：日本銀行本店（Cisco Webex 会議）
出席者：ISO/TC 68 国内委員会 松本委員長・委員・リエゾン・事務局
日本銀行 神山決済機構局長、森参事役 ほか

- 2022年6月7日に開催されたISO/TC 68 国内委員会総会の議事の模様は以下のとおり（詳細は当日配付資料を一部抜粋した別添資料を参照）。

開会挨拶

TC68 国内委員会委員長の松本横浜国立大学教授、日本銀行決済機構局の神山局長および森参事役が開会挨拶を行った。

—— 松本委員長は、新型コロナウイルス感染防止の観点から今回もオンライン形式での開催となった。各委員の参加に感謝申し上げます。近年、TC 68 を始めとする国際標準化は様々な場面で重要性を増していると感じている。本日の報告も内容が盛りだくさんであるが、ぜひ闊達な議論をお願いしたい、と述べた。

—— 神山局長は、世界の金融サービスを取り巻く環境をみると、金融機能のアンバンドリング化、分散型金融の発達、サイバー・フィジカル・システムの潮流など、デジタル化の進展により以前にも増して大きく変化している。こうした変化に対応するためには、情報システム間の相互運用性の確保や、国際標準の活用が一段と重要となる。私どもとしても TC68 国内委員会の事務局業務を通じて国際標準化活動にしっかりと貢献してまいりたい、と述べた。

—— 森参事役は、TC68 国内委員会は日頃の皆様方の活動に支えられており、今回の総会資料の作成でも前回にも増して効率化や工夫を進めながらご協力いただいたことに改めて御礼を申し上げます。日本銀行決済機構局でも、デジタル通貨の領域を中心に標準化に関する調査研究の海外発信や国際標準化活動への関与を強めている。引き続き皆様からご意見をいただきながらこうした取り組みを積極的に進めて参りたい、と述べた。

¹ ISO（the International Organization for Standardization：国際標準化機構）/TC 68（金融サービス分野の専門委員会）は、金融業務に利用される情報通信技術、情報セキュリティ技術等を対象とする専門委員会。

1. ISO/TC 68 の報告

1-1. SC2、1-2. SC8、1-3. SC9、1-4. TC68

最近の ISO/TC 68 の動向について、TC 68 および同傘下の WG・SG・AG 毎に、各国内作業部会の取り纏め役（もしくは事務局）から、策定中のドラフトや規格について、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

2. 委員会審議

2-1. TC 68 国内委員会総会の議事録、TC 68 活動報告書

2-2. TC 68 国際投票案件（2021 年 12 月 21 日総会からの進捗分、5 月 25 日時点）

事務局より、前回総会以降にメール審議を実施した国際投票案件の状況について席上で確認を行った²。

3. ISO/TC 68 関連の報告

3-1. ISO 20022 RMG

ISO 規格「ISO 20022」（ISO/TC 68/SC 9 所管）の登録管理グループ（ISO 20022 RMG）および同傘下グループの SEG 等の動向について、田貝氏（ISO 20022 RMG Convenor）、橋本（日本銀行/RMG メンバー）、各 SEG 等のエキスパートから、概要・経緯・足許の進捗状況・今後の作業スケジュールの報告項目について説明がなされた後、討議が行われた。

3-2. ITU-T/Digital Currency Global Initiative

国際電気通信連合（International Telecommunication Union）・電気通信標準化部門（Telecommunication Standardization Sector）のデジタル通貨グローバル・イニシアティブ（Digital Currency Global Initiative）が取り組んでいる研究に関して、葛城（日本銀行）から、概要・経緯・足許の進捗状況等の報告項目で説明が行われた。

² 国際規格の開発には、以下の 6 段階のプロセスがある*。予備業務項目（PWI: Preliminary Work Item）→ 新業務項目提案（NP: New work item Proposal）→ 作業原案（WD: Working Draft）→ 委員会原案（CD: Committee Draft）→ 国際規格案（DIS: Draft International Standard）→ 国際規格（IS: International Standard）。
※ 必要に応じて、DIS 投票時におけるコメントを踏まえた最終国際規格案（FDIS: Final Draft International Standard）の投票が実施され、その場合、7 段階のプロセスとなる。

4. リエゾンからの報告

4-1. ISO/TC 307 (Blockchain and Distributed Ledger Technologies)

ISO/TC 307 国内審議委員会の鈴木委員より、TC 307 の最近の動向について報告が行われた。

4-2. ISO/IEC JTC 1³/SC 17 (Cards and Security Devices for Personal Identification)

ISO/IEC JTC 1/SC 17 国内委員会の廣川委員長より、SC 17 の最近の動向について報告が行われた。

4-3. ISO/IEC JTC 1/SC 27 (IT Security Techniques)

ISO/IEC JTC 1/SC 27 専門委員会の渡邊前委員長より、SC 27 の最近の動向について報告が行われた。

4-4. ISO/IEC JTC 1/SC 37 (Biometrics)

ISO/IEC JTC 1/SC 37 専門委員会の坂本委員長より、SC 37 の最近の動向について報告が行われた。

5. 事務局からのご連絡

5-1. 委員の異動、リエゾン交代 (2021 年 12 月総会以降の変更、5 月 18 日時点)

5-2. 総会開催運営アンケート結果報告および次回総会開催予定

委員を対象に実施した「総会開催運営アンケート」の結果を踏まえ、総会開催運営に関する今後の方向性を報告した。また、次回の ISO/TC 68 国内委員会総会は 2022 年 12 月 15 日に開催を予定していることや、ISO/TC 68 国際会合および ISO 20022 RMG 国際会合は 2022 年 11 月 7～11 日にオスロ（ノルウェー）でハイブリッド形式にて開催される予定であること等を連絡した。

5-3. ISO 中央事務局等からのお知らせ (5 月 18 日時点)

ISO 中央事務局等からの連絡事項（新型コロナウイルスの影響、ロシアのウクライナ侵攻に伴う ISO の対応、ISO Directives 2022 年版公表）を報告した。

5-4. TC68 関連論文公表等のお知らせ

日本銀行決済機構局による決済システムレポート別冊論文「デジタル時代の金融サービスにおける相互運用性と標準化」（日本語版・英語版）の公表や、「ISO パネル

³ ISO と IEC (International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議) との合同技術委員会。

(第5回)」および「決済の未来フォーラム デジタル通貨分科会：中央銀行デジタル通貨を支える技術 (第4回会合)」の開催を報告した。

5-5. TC68 国内委員会ホームページ更新のお知らせ

TC 68 国内委員会ホームページの一部コンテンツを更新したことを報告した。

以 上